



Obihiro Aoi Gakuen Information

学校法人 帯広葵学園

学園通信

◆2020年(令和2年)6月22日発行

◆Vol.35

故きを温ねて、新しきを知る 葵学園のあしあと③

とかち童謡まつりへ合流 2-1

学校法人帯広葵学園

理事長 上野敏郎

平成26年7月1日、葵学園の行事「動物園で童謡を歌おうよ!」が、4回目を迎えた「とかち童謡まつり」と合流しました。

葵学園では、平成19(2007)年から独自で帯広動物園の小さなステージを借りて「動物園で童謡を歌おうよ!」の行事を始めていました。この行事の企画には動機があります。

当時、帯広動物園の入園者数は毎年減少していました。年間20万人前後を数えた入園者数が平成の時代に入ってから12万人台に減少していたのです。この流れをどうにか食い止めたいと様々な提案を議会も試みますが担当部局では取り上げてくれません。

平成13(2001)年4月、市は動物園の所管をそれまでの建設部から教育委員会に移します。この背景には、入園者数で動物園を入園者数ではなく教育面から評価すべきと強調する意図があったと思います。

そこで私は当時の動物園関係者に提案します。その提案とは、十勝管内の幼稚園、保育園に呼びかけて、園児たちに動物園で動物童謡を歌う企画を立ち上げるというものでした。日曜日になると、十勝管内のどこかの幼稚園や保育園の子どもたちが動物園の中で童謡の発表会を開くのです。となれば、必ずその子どもたちの家族も動物園にきます。歌い終えた子どもたちは、親たちと手をつないで動物園内を楽しむこととなります。子どもたちの歌声が、動物園の入場者数の増大と家族の絆づくりにつながると考えたのでした。しかし、採用はされませんでした。

そこで、ならば葵学園が独自で動物園内の小さなステージを借りて歌おうではないかとなったのでした。帯広の森幼稚園もつつが丘幼稚園も園児数は200名を超えます。童謡を歌う会には子どもたちの3倍の大人が動物園に駆け付けたのです。この会は、それぞれの幼稚園の大事な行事として育っていくのですが、訳あって平成26年の第4回とかち童謡まつりと合流することになります。この訳については、次の機会に詳しく説明することにします。

十勝毎日新聞



動物園内でかわいらしい歌声を響かせる園児たち(1日午前11時半、塩原真撮影)

(平成19年7月1日 十勝毎日新聞)

アシカも一緒に歌声

帯広の森幼稚園 動物園で童謡披露

「童謡の日」の一日、帯広の森幼稚園(南町南8線、唐澤電二園長の全園児より6人がおひろ動物園(緑ヶ丘)で童謡を披露した。元気いっぱいの歌声が響き、来園者を魅了した。

童謡や童謡を掲載した雑誌「赤い鳥」が1987年7月1日に発行されたのを記念し、日本童謡協会会館の日に童謡の日に制定している。

同幼稚園は動物が題材の童謡を通じ、心の育成

に取り組んでいる。本物の動物のそばで練習成果を発表しようと、動物園内のステージを選んだ。

午前10時半からのステージは、学生ごとに「ぞうさん」や「アイアイ」など18曲を各唱。子供たちの歌声に誘われるかのよう

にアシカやクジャも鳴き声を響かせた。年少組の八木暖花(ほのか)ちゃん(4)は「童謡は好き。楽しかった」と笑顔だった。

(池田智)



学校法人 帯広葵学園

〒080-0022

帯広市西12条南17丁目3 難波ビル2F

TEL 0155-23-7604 / FAX 0155-67-5778

URL <http://www.obihiraaoi.ed.jp>

帯広の森幼稚園



つつが丘幼稚園



緑陽台認定こども園



012 青い鳥保育園



柳町保育園



012 おびもり



あおいキッズランド



あおいキッズハウス



あおいとり



東土狩保育所・南中保育所・西中保育所